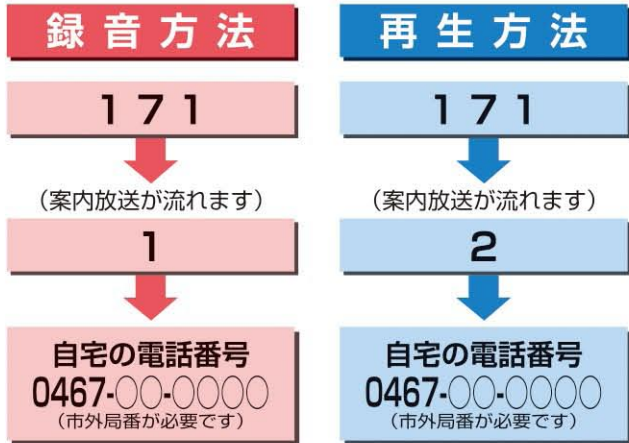


# ◆災害時の安否確認

## 災害用伝言ダイヤル171

災害時には電話が混雑し、家族と連絡がとれないことがあります。そのときには「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生をおこなってください。利用の開始や録音件数など、利用条件についてはNTTが決定し、テレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。



※災害用伝言ダイヤルは、一般電話の他に公衆電話、携帯電話、PHSからもご利用できます。

## 災害用伝言板(携帯電話)

震度6弱以上の地震などの大きな災害が発生した時に、携帯電話を利用して伝言を登録・確認できます。

### 伝言の登録や確認は

各携帯電話会社のトップページから「災害用伝言板」を選択するか、以下のQRコードを活用してください。



※各社により画面構成は異なります。  
※毎月1日・15日は体験の日です。

「登録」を選択して伝言を入力

「確認」を選択して、確認したい相手の携帯電話番号を入力

# ◆市からの情報提供

**消防テレホンサービス 0120-24-0467** 災害の発生情報や防災行政用無線の放送内容など

**鎌倉エフエム放送 (82.8MHz)** 災害の発生情報など

**鎌倉ケーブルテレビ** 災害の発生情報など(テロップ)

**鎌倉市防災・安全情報メールサービス** 市内で発生した災害・防犯情報などを配信するサービス

<登録方法> 右のQRコードからサイトへアクセスし、画面の指示に従って登録してください。



<http://www.lamo.jp/kamakura/>  
(読み取れない場合はこちらから)

# 大地震経験者(震度6弱以上)に聞いた被災時にあってよかったもの BEST 10

アンケート対象者：兵庫県南部地震や新潟県中越沖地震などの大地震で、震度6弱以上の地域に住んでいた被災経験のある20歳以上の男女504人。



出典：(財)消防科学総合センター「大地震被災経験者に聞く「被災時にあってよかったもの」(調査2007年8月)」

### ■その他に役立つもの

軍手、ビニール袋、ライター、保険証・免許証のコピー・通帳番号の控え、ローソク、ラップ、ウェットティッシュ、トイレットペーパー、新聞紙、ビニールシート、簡易トイレ、缶切り、携帯電話の充電器、車から100Vを取れるインバーター、石油ストーブ、枕元の靴、旅行用ケース(小型車輪付)、筆記用具、衣類、紙コップ、紙皿、持病用の常備薬、アレルギー体質に合わせた食品など。

※食料や飲料水は数日分(国は「1週間分以上」を推奨)は用意しておきましょう。(飲料水はひとり1日3リットルが目安)

※避難時の持出品は…非常袋やリュックサックなどにまとめて、持ち出しやすい場所に置いておきましょう。